

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2025年 6月 20日

堺市長 殿



提出者

住 所 大阪府堺市堺区戎島町5丁1番地

氏 名 堺化学工業株式会社 堺事業所長執行役員 田畑 啓一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 072-223-4115

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	堺化学工業株式会社 堺事業所 石津工場
事業場の所在地	堺市西区築港新町3丁27番16号
計画期間	2025年4月1日～2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	16：化学工業
②事業の規模	製造品出荷額：30億円
③従業員数	26人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項										
(管理体制図) 別紙のとおり										
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(2024年度)実績】		①現状				①現状			
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	木くず	管理型混合廃棄物	廃油	廃アルカリ	蛍光灯(水銀使用製品産業廃棄物)	UVランプ(水銀使用製品産業廃棄物)	電池類(水銀使用製品産業廃棄物)	
	排出量	12532 t	3 t	18 t	0 t	3436 t	0.03 t	0.006 t	0.02 t	t
(これまでに実施した取組) 生産工程改善による廃液量の削減。 濾過助剤の低減。 汚泥中、廃アルカリ中の水分量の削減。										
②計画	【目標】		②計画				②計画			
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	木くず	管理型混合廃棄物	廃油	廃アルカリ				
	排出量	13000 t	3 t	20 t	5 t	9000 t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組) 生産量減少のため、排出量も減少。 生産工程改善による廃液量の削減。 濾過助剤の低減。 汚泥中、廃アルカリ中の水分量の削減。										
産業廃棄物の分別に関する事項										
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の種類ごとに容器(コンテナ、ドラム、バケツなど)を 区別、場所も区画化している。									
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持。									

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】			①現状				①現状			
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	木くず*	管理型混合廃棄物	廃油						
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	
	(これまでに実施した取組) 特になし。										
②計画	【目標】			②計画				②計画			
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	木くず*	管理型混合廃棄物	廃油	廃アルカリ					
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	
	(今後実施する予定の取組)										
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】			①現状				①現状			
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	木くず*	管理型混合廃棄物	廃油	廃アルカリ					
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	11515 t	0 t	0 t	0 t	3436 t	t	t	t	t	
(これまでに実施した取組) 特になし。											
②計画	【目標】			②計画				②計画			
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	木くず*	管理型混合廃棄物	廃油	廃アルカリ					
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	11945 t	0 t	0 t	0 t	9000 t	t	t	t	t	
(今後実施する予定の取組) 特になし。											

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
①現状	【前年度(2024年度)実績】		①現状											
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	木くず	管理型混合廃棄物	廃油	廃アルカリ								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t		
	(これまでに実施した取組) 特になし。													
②計画	【目標】		②計画											
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	木くず	管理型混合廃棄物	廃油	廃アルカリ								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t		
	(今後実施する予定の取組) 特になし。													
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			産業廃棄物の処理の委託に関する事項						産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
①現状	【前年度(2024年度)実績】		①現状											
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	木くず	管理型混合廃棄物	廃油	蛍光灯(水銀使用製品産業廃棄物)	Dコンブ(水銀使用製品産業廃棄物)	電池類(水銀使用製品産業廃棄物)						
	全処理委託量	1017 t	3 t	18 t	0 t	0.03 t	0.006 t	0.03 t	t	t	t			
	優良認定処理業者への処理委託量	1017 t	3 t	18 t	0 t	0.03 t	0.006 t	0.03 t	t	t	t			
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t			
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t			
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t			
	(これまでに実施した取組) 生産工程改善による廃液量の削減。 濾過助剤の低減。 汚泥中、廃アルカリ中の水分量の削減。													

②計画	【目標】	②計画			②計画							
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	木くず	管理型混合廃棄物	廃油	廃アルカリ						
②計画	全処理委託量	1055 t	3 t	20 t	5 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1055 t	3 t	20 t	5 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組) 生産量減少のため、排出量も減少。 生産工程改善による廃液量の削減。 減過助剤の低減。 汚泥中、廃アルカリ中の水分量の削減。</p>											
※事務処理欄												